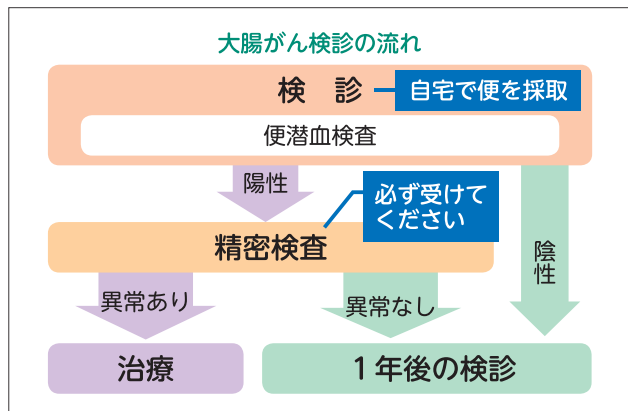


会員数	40,612	(前月比) +	15
郵送	8,923	(前月比) +	61
手配り	28,197	(前月比) +	77

協同基金到達額 2,519,549,000円(12/31現在) [前月比 12,754減]

協同基金出資者数 21,831名(12/31現在)
いのちを守る助け合い募金額 34,298円(12/1~31)



便検査で陽性になったら、必ず精密検査を

早期発見、治療で完治

大腸がんは、早期発見で救える可能性が高いがんであるにもかかわらず、死亡者が非常に多いがんです。そもそも大腸がんになる人が非常に多く、10人に13人に一人は、一生のうちどこかのタイミングで大腸

コロナ禍、がん検診を控える方が増え、その結果、がんの発見が遅れる方が増えています。昨年、同仁会の各事業所で、大腸がん検診(便潜血検査含む)を受けた1万162人で、陽性、もしくは要精密検査となった方が526人おられました。そのうち262人が実際に精密検査を受け(受検率49・8%)、149人がポリープ切除術を行い、26人の方が大腸がんの診断(精密検査を受けた人の10%)を受けました。

今年度(2023年3月末まで)も残すところ、あとわずかになりました。友の会の皆さん、もう大腸がん検診はお済みなられたでしょうか。2023年3月末までは、堺市がん検診や特定健診は無料で受けられます。ぜひ、この機会に受けてください。

2月～3月は 大腸がん検診推進月間

今年度のがん検診はお済みですか?お済みの方も、そつでない方も、がん検診は定期的に行うことが大切です。堺市に住民票がある方は、下記のがん検診が3月31日まで、自己負担金0円で受けることができます。



「毎年、この月に受診する」と決めて検診を

行つことで死亡率が低下することが科学的に証明されています。しかし、これらのは初期段階では自覚症状がほとんどなく、症状が出てからの受診では、かなり進行して

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

がんが発見されてしまいます。大腸がんは、症状(便秘や下痢を繰り返す、腹痛など)が出るころは相当に大きくなつており、内視鏡で切除するのは難しくなります。大腸がんは、適切な時期に検診さえ受けられれば、早期発見、早期治療

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

がん死亡数の順位 (2021年度)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

対象と費用

〈堺市民〉40歳以上は2023年3月末まで無料
〈高石市民〉自己負担500円
●それ以外の方は自費で、1,100円です。

- 大腸がん検診の受け方
- お近くのみみはらグループの各事業所に、検査容器と問診票を取りに行ってください。
※取りに行けない方は、友の会事務局にご相談ください。
※定期受診されている方は、受診した際にスタッフにお声がけください。
 - 自宅で便を2日間採取。
 - 検査容器と問診票を事業所に提出する。
 - 2～3週間後に検査結果が郵送されます。

詳しくは、健康友の会みみはら事務局まで
Tel 072-244-7260 fax 072-247-0165

「現場から」

「健診の現場から」

「現場から」

「健診の現場から」

聴診器

聴覚情報処理障害(A/P) / 聞き取り困難(LiD) / 聞き取りが難しい(D) / 聞き取りが非常に難しい(D) / 聞き取りが不可能(D)

「現場から」

「健診の現場から」